

令和8年度後期水産土木技術者養成講習会

受講者募集案内

(募集対象：都道府県及び市町村職員)

〔(1) 東京会場〕 ※〔(1) 東京会場〕では、会場での講義受講 又は Web 配信講義受講を選択できます。
なお、いずれも、試験は試験会場にて受験していただきます。

① 東京会場 講義受講 (試験会場：東京)

講義日 令和8年11月16日(月)～11月19日(木)

試験日 令和8年11月20日(金) 9:00～11:45

講義・試験会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 513(東京都渋谷区)

会場講義

② Web 配信 講義受講 (試験会場：東京)

Web 講義配信期間 令和8年10月20日(火)～11月19日(木)まで

試験日 令和8年11月20日(金) 9:00～11:45

試験会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 513(東京都渋谷区)

WEB 講義

〔(2) 福岡会場〕 ※〔(2)福岡会場〕では、現地会場での講義の開催はありません (Web 配信講義のみの開催となります)。なお、試験は試験会場に会場として受験していただきます。

③ Web 配信 講義受講 (試験会場：福岡)

Web 講義配信期間 令和8年11月10日(火)～12月10日(木)まで

試験日 令和8年12月11日(金) 9:00～11:45

試験会場 福岡県中小企業振興センター 4F 401 会議室 (福岡市)

WEB 講義

※Web 配信講義 (以下「Web 講義」) では、配信期間中 (約1か月間) に各講義の動画 (18科目、講義時間合計1380分(23時間)) を任意の場所で視聴していただきます。受講決定後に、Web 講義用のアドレスをお知らせします。講義動画視聴に係るインターネット回線使用料等はご負担ください。

◇開催にあたって◇

〔開催の趣旨〕

漁港、漁場、漁村の整備は、水産業を取り巻く情勢に的確に対応しながら、主に水産基盤整備事業により、総合的かつ計画的に実施することとされています。

一方、水産基盤整備事業を支える水産土木技術は、水産学と土木工学が融合した学際的な領域に属するため、大学等においても水産土木技術者の養成教育が行なわれておらず、水産土木事業の担い手となる水産土木技術者の育成が必要とされています。特に、水産土木事業の実施においては「水産基本法」や「漁港及び漁場の整備等に関する法律」で規定されている「環境への調和と配慮」を徹底するため、水産生物の生態系や海洋環境についての専門的知識を持つ技術者の育成が強く要請されています。

このような事情から、当センターは水産庁のご後援を得て、水産生物環境に配慮した水産土木技術と知識の普及等を図るため、都道府県及び市町村職員を対象とした水産土木技術者のための講習会を実施することとなりました。

なお、この水産土木技術者養成講習会は、漁港・漁場・海岸事業などの水産基盤整備事業に携わる技術者を主な対象として実施している水産工学技士養成講習会と同一内容で、同時に開催されるものです。

また、令和2年度から、長寿命化対策 (ストックマネジメント) の重要性に伴い、水産基盤施設の日常点検方法についての講義を追加しています。

〔受講者等の特典〕

この講習修了者で、一般社団法人日本水産会を代表とした共催三団体が実施する水産工学技士登録資格認定試験の受験資格に達している者には、その受験資格が付与されます。

主催：一般社団法人 水産土木建設技術センター
後援：水 産 庁

〔受講資格〕

受講資格を有する者は、水産土木業務に従事している都道府県及び市町村の職員とする。

（注）水産土木業務とは、水産土木事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務をいう。

〔受講の申込〕

別紙受講申込用紙にて記載し、写真を貼付の上、メール(PDFファイルを添付)でお申込みください。

- ① 締切日：（１）東京会場（会場講義・Web 講義） 10 月 2 日（金）
（２）福岡会場（Web 講義） 10 月 23 日（金）
- ② 申込先 メール件名：「令和 8 年度後期水産土木技術者養成講習会申込書送付」
メールアドレス：**suisan-k@fidec.or.jp**

③ 写真について

受講申込書に顔写真を貼付したものを提出して頂くとともに、合格した際の資格者証作成のため、メールにも同じ写真のデータを必ず添付の上、提出してください。

【申込書貼付用写真】

- ・写真サイズ：縦 3.0 cm×横 2.5 cm

【写真データ】

- ・ファイル形式：JPEG 形式
- ・データ容量の目安：50KB～5 MB 程度

【写真の仕様】（貼付写真・写真データ共通）

- ・6 ヶ月以内に撮影したもの（スマートフォン等で撮影可）
- ・上半身正面、無帽、無背景、カラー（コピー不可）
- ・申込書に貼付した写真と同一のもの

〔受講者の決定等〕

- ① 受講募集者数は（１）東京会場（会場講義・Web 講義）、（２）福岡会場（Web 講義）共、各 5 名程度とします。Web 講義の定員はありませんが、申込状況等に応じて調整する場合があります。なお Web 講義は動画配信サイトによる配信型の講習を実施します。受講が決定した後、講義配信開始日前を目処に接続用のアドレスをメール送信します。
- ② 受講が決定した者には、受講者決定通知書を申込時記載のメールアドレス宛に添付ファイルを送信します。テキストについては、予習のために、会場受講者は講習日の約 1 ヶ月前、Web 配信受講者は配信開始日前を目処に送付します。ただし、会場受講者でテキストの事前受取りを希望しない場合は、講習会初日に講習会場で受取ることができます（申込書に要記載）。
- ③ 受講者決定通知書を送付した後は、受講者の変更は原則認めません。

〔受講料等〕

受 講 料 無料

（但し、（一社）水産土木建設技術センターの会員外は¥ 5 6, 0 0 0 -（税込））

※（１）東京会場（会場講義・Web 講義）、（２）福岡会場（Web 講義）ともに同額です。

※振込手数料は受講者負担です。

テキスト代 ¥ 1 3, 0 0 0 -（税込）

受 験 料 ¥ 1 3, 0 0 0 -（税込）

〔講義内容、日程等〕

1 講義内容

- | | |
|-----------|--|
| ① 概 論 | 水産土木概論、水産通論、増養殖概論、漁船概論 |
| ② 基 礎 | 漁港・漁場の水理、魚類の生理・生態、
漁場形成と環境・資源、藻場・干潟生物の生理・生態 |
| ③ 調 査 | 水質・底質環境の調査と保全、生物環境の調査法 |
| ④ 計 画 | 漁港漁場整備計画論、漁場整備計画と事例、藻場造成計画と事例、
干潟・浅場造成計画と事例 |
| ⑤ 設 計 | 漁港・漁場施設の構造設計 |
| ⑥ 施 工 管 理 | 水産土木工事の施工と管理、水産土木工事の施工環境監理 |
| ⑦ 維 持 管 理 | 水産基盤施設の維持管理と日常点検 |

2 講習日程

第1日目(月)	9:15～9:45	受付
	9:45～10:00	開講式、オリエンテーション
	10:05～12:05	13:05～16:05 講義
第2日目(火)	9:00～12:10	13:10～16:20 講義
第3日目(水)	9:00～11:40	12:40～17:00 講義
第4日目(木)	9:00～12:10	13:10～16:20 講義
	16:20～16:30	閉講式、修了証書交付

※注

講師の都合により、講義時間が若干変更になる場合があります。

＜水産工学技士認定試験を受験する場合＞

第5日目(金)	9:00～9:15	試験要領等説明
	9:15～11:45	水産工学技士登録資格認定試験

3 水産工学技士登録資格認定試験の受験資格

受験資格を有する者は、次のいずれかに該当する者とする。

- ① 水産土木技術者養成講習を修了し、且つ、水産土木業務の従事期間が、下表の学歴と専攻科目の各欄のそれぞれに該当する年数の者

学歴 \ 専攻科目	①の課程卒業者	②の課程卒業者
大 学	2年以上	4年以上
短大・高専・専門学校	4年以上	6年以上
高 校	6年以上	8年以上

①の課程卒業者：土木工学、農業土木、森林土木又は水産学の課程卒業者

②の課程卒業者：①以外の課程卒業者

- ② 技術士法の建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学（旧「農業土木」）」とするもの）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするもの）又は水産部門（選択科目を「水産土木」又は「水産資源及び水域環境（旧「漁業及び増養殖」、「水産水域環境」）」とするもの）で技術士の登録がなされている者（要コピー添付）

- ③ 前記の①及び②に該当しない者は、水産土木技術者養成講習を修了し、且つ、水産土木業務の従事期間が10年以上の者

（注1）「水産土木業務」とは、漁港、漁場及び漁港海岸事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務のほか、湖沼、河川及び海域における土木事業の技術的業務を含むものとする。

（注2）「水産土木業務の従事期間」とは、水産土木事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務に従事した期間を通算した期間をいう。

《参 考》

水産工学技士（水産土木部門）資格認定登録制度について

- ① この水産土木技術者養成講習と並行して「水産工学技士養成講習（水産土木部門）」を開催します。受講者募集案内は別途されていますのでご覧ください。
- ② 水産土木技術者養成講習を受講され、且つ、所定の業務の経験年数を有する方には、「水産工学技士（水産土木部門）」（以下、（水産土木部門）を省略）の登録資格認定試験の受験資格が付与されますが、受験されるか否かは受験者の任意です。水産工学技士の登録資格の取得を希望される方は、受講申込書の中の「水産工学技士（水産土木部門）試験の受験申込み」欄の「受験する」にチェックを入れてください。
- ③ 水産工学技士登録資格認定試験料は¥13,000-（税込）です。
- ④ 水産工学技士登録資格認定試験料の支払いは、銀行振込にてお支払いください。
- ⑤ 水産工学技士登録資格認定試験日は、講習会終了日の翌日9時からです。
- ⑥ 水産工学技士登録資格認定試験の成績において「日本水産工学会」から講習修了と判定された者の中から、環境に優しい水産土木技術に関する知見と技術を有すると認められた者に対し、共催団体が水産工学技士登録資格者として認定します。登録には¥7,150-（税込）の登録料が別途必要です。
- ⑦ 水産工学技士登録者の合格は、（一社）水産土木建設技術センターのホームページ（<https://www.fiddec.or.jp>）で行うとともに、受験者全員へ文書通知をします。
- ⑧ 水産工学技士の資格登録を行った者は、水産庁が推進している「施工環境監理者」の有資格者になります。

代表 一般社団法人 大日本水産会
一般社団法人 水産土木建設技術センター
公益社団法人 日本水産資源保護協会

〔個人情報の取扱い〕

講習会の受講申込み時に提出頂いた個人情報は、(一社)水産土木建設技術センターが実施する水産土木技術者養成事業の適切な運用のためにのみ利用いたします。また、本人の同意がある場合及び関係行政機関から要請があった場合を除き、当該情報の第三者(業務委託先を除きます)への情報提供はいたしませんので、支障がある場合には下記の照会先までお知らせください。

〔照会先等〕

この募集案内に関するご質問、ご照会は、(一社)水産土木建設技術センター水産土木技術者養成係へお願いします(受付時間 10:00~17:00 電話 03-6260-6011(直通) メール fukyubu@fidec.or.jp)。この募集案内、申込書は(一社)水産土木建設技術センターのホームページ(<https://www.fidec.or.jp>)よりダウンロード可能です。

講習会場への交通案内

〔東京会場〕



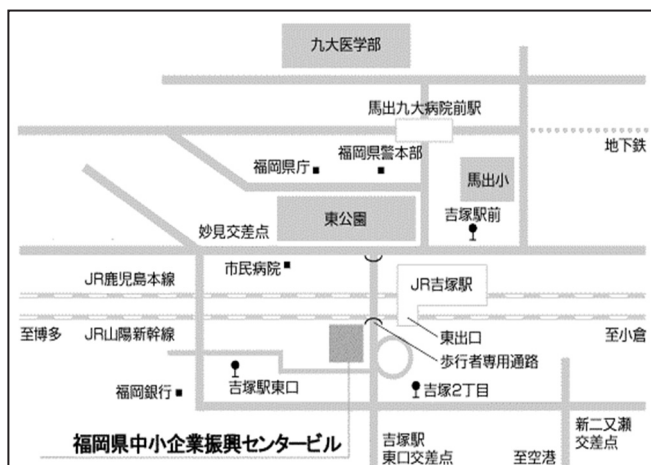
〔国立オリンピック記念青少年総合センターへの交通案内〕

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- 東京メトロ千代田線「代々木公園駅」下車 代々木公園方面4番出口 徒歩約10分
- 京王バス 新宿駅西口(16番)より〔宿51〕渋谷駅「代々木5丁目」下車
- 京王バス 渋谷駅西口(40番)より〔宿51〕新宿駅西口行「代々木5丁目」下車

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。
自家用車をご利用の方は会場又は周辺の有料駐車場をご利用ください。(駐車料金の割引はありません)

国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町3-1
電話 03-3469-2525

〔福岡試験会場〕



〔福岡県中小企業振興センター会議室への交通案内〕

- JR「吉塚駅」東口より徒歩1分
 - 福岡市地下鉄「馬出九大病院前駅」3番出口より徒歩10分
- ※できるだけ公共交通機関をご利用ください。
自家用車をご利用の方は会場周辺の民間の有料駐車場をご利用ください。(駐車料金の割引はありません)

福岡県中小企業振興センター
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15
電話 092-622-0011